

「学びの教室」

令和7年2月4日
特別支援教室「学びの教室」
巡回指導拠点校・通級指導校
文京区立駒本小学校
校長 根来 郁明
文京区立汐見小学校(巡回校)
校長 山田 晴康

駒本小学校特別支援教室直通電話 3827-5575(ファクシミリ兼用)

通信

働くということ

現在「働く」ということが社会的に注目されています。「人手不足」「働き方改革」などの言葉がニュースなどでよく話題になっています。また、AIなどのテクノロジーの進化により、社会に必要な仕事に変化しつつあります。少し前の話になりますが、10年後には、社会的に必要な仕事がたくさん出てくるのではないかと、という話を聞きました。今まで人が行ってきた仕事を、コンピュータや機械が代わりに行うことも増えてくるようです。そのような状況の中で、今の小学生もいずれ社会に出て働くことになります。

働くということは自分のやりたいことを実現するという一方で、社会貢献としての役割もあります。もちろんお給料をもらうということも、生きていくために大切なことです。いろいろな事情の中で、子どもたちや保護者の皆さんにも、今後、就職や就労に向けていろいろな葛藤が生まれるのではないかと思います。実際に私もいろいろな選択肢の中で迷ったことや不安もたくさんありました。私の場合、親が後押ししてくれたおかげで教師になれた部分があります。



さて、3月17日月曜日の午後1時30分より、第2回駒本小学校エリア保護者学習会を開催します。今回は就労継続支援事業 ワークプレイスぶんぶんより、近藤七海様をお迎えして、就労についてご講演をいただく予定です。ワークプレイスぶんぶんは、リアン文京の中にある事業所です。今の小学生が、実際に働くまでには10年以上ありますが、社会に出て働くまでの間に、保護者がどのように支援していけばよいか、どのような力を身に付ければよいか、実際に就労支援に携わっていらっしゃる立場の方から生きたお話をいただきます。

詳細につきましては後日配布のお知らせをご覧ください。年度末でお忙しい時期かと存じますが、ぜひご参加ください。
(記:小倉)

<阿部先生からひとこと>

年度途中で退職させていただくことになり、大変ご迷惑をおかけして申し訳ありません。子どもたちとどうすれば良かったのか一緒に考えたり、苦手なことに何度も取り組んだり、「学びの教室」だからこそ得られる時間でした。保護者の皆様ありがとうございました。「学びの教室」のみんな、楽しい学校生活を送ってくださいね。

<年度末個人面談(希望制)について>

3月13日(木)より年度末の個人面談(希望制)を実施します。進級や進学に関して、不安なことがあったり、ご家庭での様子で心配なことがあったりする場合は、ぜひお申し込みください(卒業生も申し込みます)。後日、配布の面談希望調査票にご記入の上、締め切り日までにご提出をお願いいたします。

<2月のコミュニケーションタイムの主な学習予定>

「サーキットトレーニングC」

昨年展開した、サーキットトレーニングA・Bに引き続き、今回も、サーキットカードを手に、各コーナーを回ります。

サーキットカードは、スタンプラリーカードの様式で、各コーナーでの運動を終えるごとに、子どもたちが自分で該当欄にシールを貼る仕組みになっています。開始コーナーや回る順番については自分で決めることで、自己選択能力や自己決定能力を育むこともねらっています。

なお、1周分の周回が全て終わったところで、子どもたちは、MT(メイン・ティーチャー)に「○周目が終わりました。」と、報告し、報告を受けたMTが該当欄にスペシャルシールを貼った後、次の周回に入れるという決まりになっています。そのため、運動の順番などにこだわらずに進めることが可能になるという利点もあります。

●学習指導要領「自立活動」関連項目

- 5 身体の動き
 - (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること
- 6 コミュニケーション
 - (5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること

以上